

受理年月日	令和 8 年 7 月 16 日		所管委員会	総務財政委員会
番 号	8 年 陳 情 第 1 2 号			
件 名	公的車両及び防犯パトロール車両の適正な運用と住民の不安解消について			
陳 情 者				
分割送付	なし			
要 旨	現在、地域社会において、特定の住民に対して複数の人が組織的に尾行や監視を行う事案に加え、パトカーや緊急車両（消防車、救急車）、地域の青パト（自主防犯パトロールカー）が不自然な頻度やタイミングで走行を繰り返すといった心理的圧迫を与える付きまとい行為が報告されています。さらに、これらの人や車両による目に見える嫌がらせにとどまらず、自宅周辺から特定の電磁波や未知のエネルギーを照射され、頭痛、不眠、強い身体的苦痛などの健康被害を伴う行為に苦しむ住民の存在が指摘されています。これらの行為は、現行のストーカー規制法や迷惑防止条例の想定を超えた手口であり、法的な隙間を突いた深刻な問題となっています。 住民の安心、安全を守るべき機関の車両や活動が、逆に住民に恐怖や不信感を与える運用になってはいけません。 よって、地域住民の平穏な生活を守るため、以下の事項について陳情します。 1. パトカー、緊急車両及び青パトによる特定の個人や住宅周辺における不自然な巡回、監視、付きまとい行為のように感じられる運用について、実態を調査すること。 2. 不審な人による集団的な監視行動への対策を行うこと。 3. 住民に過度な精神的負担や不安を与えない公的車両の適正な運行管理や指導、電磁波等の目に見えない手段を用いた嫌がらせ行為（健康被害）への防犯体制強化のための電磁波測定器の貸出し、専門的な窓口の設置による相談体制の強化について関係機関に働きかけ、包括的な安全対策を講じること。			

陳情書

令和8年7月12日

福岡市議会議員 殿

陳情者

住所:

氏名:

電話番号:

件名: 公的車両および防犯パトロール車両の適正な運用と住民の不安解消に関する陳情書

陳情の要旨:

地域住民の平穏な生活を守るため、パトカー、消防車、救急車、および青パトによる特定の個人や住宅周辺における不自然な巡回・監視・付きまとい行為のように感じられる運用について実態を調査し、不審な人による集団的な監視行動への対策と併せて、住民に過度な精神的負担や不安を与えない適正な運行・管理、および電磁波等の目に見えない手段を用いた嫌がらせ行為（健康被害）への防犯・相談体制の強化を関係機関に働きかけていただくよう陳情します。

陳情の理由:

現在、地域社会において、特定の住民に対して複数の人が組織的に尾行や監視を行う事案に加え、パトカーや緊急車両（消防車・救急車）、地域の青パト（自主防犯パトロールカー）が不自然な頻度やタイミングで走行を繰り返すといった、心理的圧迫を与える付きまとい行為が報告されています。

さらに、これら人や車両による目に見える嫌がらせに留まらず、自宅周辺から特定の電磁波や未知のエネルギーを照射され、頭痛、不眠、強い身体的苦痛などの健康被害を伴う行為に苦しむ住民の存在が指摘されています。これらの行為は、現行のストーカー規制法や迷惑防止条例の想定を超えた手口であり、法的な隙間を突いた深刻な問題となっています。

住民の安心安全を守るべき機関の車両や活動が、逆に住民に恐怖や不信感を与える運用になってはなりません。自治体として、これらの車両の

走行ルートや出勤の妥当性について適正な管理・指導が行われるよう関係各所へ働きかけるとともに、電磁波測定器の貸出や専門的な相談窓口の設置など、包括的な安全対策を講じていただくよう、本陳情を提出いたします。

